

平成23年度事業計画

公益財団法人北九州活性化協議会（以下：K P E C）は、設立20周年に設定した基本計画に従って、4つのテーマ（環境、イノベーション、人材育成、都市格の向上）について、平成21年度よりその事業化に向けた研究を行なってきた。これを踏まえて、平成23年度のK P E Cの事業運営は、各テーマ毎に専門委員会を設置し、事業の具体化を進める。

指定管理事業である北九州イノベーションギャラリー（K I G S）については、指定管理第二期の2年目を迎え、館の設置目的である「人材育成・産業技術の保存継承・技術革新の機会創出」を目指して、企業人から高校生や子供までものづくりの楽しさを味わえる事業を展開していく。

また、地域づくりの新しい考え方として、PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ：公民連携）や「新しい公共」など、地域社会を円滑に運営していくための先進的動きも活発になってきている。こうした地域社会の動きに対して、平成22年3月1日に公益法人として新しい一歩を踏みだしたK P E Cとしても、その組織的位置づけを生かし、今後の事業環境の開発のための企画、研究を実施していく。

平成23年度の事業計画は以下のとおりである。

I 公益目的事業

1. 一般事業

- (1) 持続可能な環境への取り組み
 - ① もったいないスクール2011
 - ② もったいない精神（こころ）の普及
 - ③ もったいない塾の開催
 - ④ 広報活動
- (2) 北九州におけるイノベーションと産学連携
 - ① 長期インターンシップ事業
 - ② 学生による地場企業データベースの作成
 - ③ 社会人教育プログラムの推進
- (3) 次世代を担う人材の育成
 - ① 経済人による義務教育支援活動の推進
 - ② ひまわり塾の開催
- (4) 北九州の都市格向上への取り組み
 - ① 「K P E C夢のかけ橋寄金」事業の実施
 - ② 北九州ミュージックプロムナードの支援
 - ③ 北九州市にぎわいづくり懇話会への参画
- (5) 情報受発信・交流事業
 - ① A B L Eサロンの開催

- ② 情報受発信の強化
- ③ 地域おこし研修交流

(6) まちづくり推進事業

- ① まちづくり講演会の開催
- ② 環境首都づくりのための今後の活動の方向性研究
- ③ 地域活性化に向けた新しい活動分野の研究

2. 指定管理者事業

- ・北九州イノベーションギャラリー（K I G S）指定管理者事業

II K P E C組織活性・強化事業

- (1) 会員サービス事業
- (2) 地域連携促進事業
- (3) 会議等の実施

I 公益目的事業

1. 一般事業

(1) 持続可能な環境への取り組み

「もったいない総研」は、北九州活性化協議会の設立10周年記念事業として立ち上げたものであり、世界の環境首都を目指す北九州においてリーディングコアとなることを目指した活動を行う。また、北九州市が策定した「環境モデル都市」行動計画に対して協働と支援を行う。

① もったいないスクール2011

「もったいない総研」は、2005年度より、子供たちを対象とした環境教育に取り組んでいる。(社)北九州青年会議所と協働で、今年度は「eーキャンプ」を実施する。

(事業概要)

- ・目的 子供の環境意識、知識向上を図るとともに、体験を通じて低炭素社会の実現のため実生活での実践を促進する。
- ・内容 夏休みに親子でキャンプを行い、地元の農産物を使った料理を作り、その過程で出た廃材料を他の食材に活用する。

また使用済みの箸や皿を利用して遊び道具を作り、リサイクルの楽しみを実感させる。さらに環境に関するクイズ等を通じて環境知識を高める。

② もったいない精神（こころ）の普及

“もったいない精神(こころ)” 提唱の先駆者として、様々な視点から調査・研究を行い、市民一人ひとりが環境意識を高めて低炭素社会を作り出していくよう、生活にフィットした活動を展開し “もったいない精神(こころ)” の醸成を図る。

i) 環境「もったいない」作文の募集

北九州市PTA協議会と共催し、市内全域の小学校、中学校から環境をテーマとした作文を募集し優秀作品を表彰する（小学5年生、中学2年生を対象）。今年度で4回目となる。

スケジュール（予定）

- ・募集 平成23年12月
- ・応募締切 平成24年1月初め
- ・表彰式 平成24年3月

ii) 「ブラックイルミネーション&キャンドル eco ナイト」

環境省が呼び掛けている『CO2削減/ライトダウンキャンペーン』および、民間団体が主催する『100万人のキャンドルナイト』の趣旨に賛同し、照明を消して、キャンドルの灯りを中心に、家族・友人が集い、地球環境・愛・思いやりなどについて語り合うきっかけを作る。

- ・実施時期 冬至の頃

iii) 食と農のプロジェクト

地元の食材を積極的に楽しみ、親しみ、環境に貢献しながら地元食文化を受け継いでいく。また、子どもたちの食育を進め、北九州の「食」と「農」の向上を図っていく。

- ・主催イベント 講演会、セミナー、交流会など（年2～3回）
- ・支援プロジェクト 有機農法で農産物を栽培する農園や、ショップ、レストラン等を発掘し、これらの情報を北九州活性化協議会「もったいない総研」のホームページに掲載して周知する。

iv) 年長者研修大学校での講演

北九州市立年長者研修大学校（周望学舎、穴生学舎）からの要請に基づき、「暮らしと環境」講座において、もったいない総研の活動紹介とあわせて、KPEC が企画・開発したリサイクルトイレットペーパー「えこっパー」のPRを行う。

v) リサイクルトイレットペーパーを通じた環境教育

リサイクルトイレットペーパー「えこっパー」の製造メーカーから売り上げに応じて頂いた寄付金を全額、北九州市PTA協議会に寄付し、子供たちの環境教育に役立てる。

また、大半が焼却処分されている学校給食の牛乳パックを「えこっパー」の原料として活用する方法を関係機関と連携して検討し牛乳パックのリサイクルを促進する。

③ もったいない塾の開催

市民や企業の意識啓発と「世界の環境首都・北九州」の機運作りを目指して、もったいない塾を開催する。

i) 「ラジオもったいない塾」

北九州シティ FM の環境番組「エココロ Wind」にて、「ラジオもったいない塾」として、もったいない総研の活動などを紹介する（月1回）。

ii) 環境に関する講演会の開催

環境について考える機会を市民へ提供する。

④ 広報活動

もったいない総研の活動を、「もったいない総研」のホームページや冊子で情報発信し、市民意識の向上を図る。

i) 「もったいないすたいる」の発行（年1回、平成24年3月）

ii) ホームページの更新

(2) 北九州におけるイノベーションと産学連携

経済のグローバル化の進展による国際競争の激化の中で、競争力ある企業、成長力ある産業、活力ある地域を目指して、北九州地域が持続的な発展を続けていくためには地域中堅・中小企業の経営力強化とイノベーション力向上のための環境づくりが求められている。

平成21年度の「産学連携研究会」による「産学連携によるイノベーションの推進と高度人材の育成」の調査・研究報告を踏まえて、平成22年度にその具体化に向けた環境整備を行なった。

これを踏まえて、平成23年度は産学官民の協働による推進組織を設置して、北九州市、九州工業大学及び北九州市立大学と協働して「北九州地域産業人材育成事業」に取り組む。

組織体制として、北九州地域の産業人材育成環境の構築と具体的に事業推進を行うための組織として産学官連携による「北九州地域産業人材育成フォーラム」を編成する。また、上記フォーラムの推進機能を持つ「KPEC 産業人材育成委員会」を設置する。

① 長期インターンシップ事業

地域製造企業を中心に、九州工業大学及び北九州市立大学環境工学部学生を対象にして、長期インターンシップを実施する。平成23年度の実施結果を踏まえて、事業のモデル化を行い、平成24年度以降、他大学に展開を予定。

長期インターンシップ事業開始にあたり、下記の施策を実施する。

i) 北九州地域産業人材育成フォーラムインセンティブセミナーの実施

産業人材育成事業について理解してもらうため、地域企業を

対象にインセンティブセミナーを実施する。

ii) インターンシップ推進セミナーの実施

九州工業大学、北九州市立大学別に、学生を対象にしたインターンシップ推進セミナーを実施する。

iii) 工場見学ツアーの実施

地域企業に対する学生の認知度の向上と、地域企業のプロモーションを目的として、工場見学ツアーを実施する。

② 学生による地場企業データベースの作成

・学生による北九州地域未来創造型企業魅力発信レポート事業

平成18年から実施してきた「ぼくらのハローワーク事業」で蓄積した企業情報と、長期インターンシップ事業で得た企業情報を結合して、企業情報のデータベースを作成し、これを活用できる体制を作る。

③ 社会人教育プログラムの推進

九州工業大学の社会人プログラムや北九州市立大学のMBAなど社会人向け人材育成プログラムを、体系的に活用する仕組みの検討を行う。

i) ドクターチャレンジプログラム(仮称)のフィジビリティ・スタディ

九州工業大学の社会人プログラムを活用した地場中堅・中小企業従業員の博士号取得促進事業の環境整備を行う。

ii) MBA in KIGS の企画・実施

北九州イノベーションギャラリーにおいて、地場中堅・中小企業の経営者等を対象に、北九州市立大学のMBAコースを活用したマネージメントコースの短期集中講座を実施する。

iii) MBA白熱教室の企画・実施

北九州市立大学ビジネススクールと連携して、地域企業の認知度向上と学生のキャリア教育を目的として、MBA参加地場企業経営者と学生による企業研究プログラムを実施する。

(3) 次世代を担う人材の育成

① 経済人による義務教育支援活動の推進

平成21年度、22年度にわたり「義務教育支援活動研究会」による調査、研究を行い、その成果として「企業が行う義務教育支援についての研究」報告書を策定し、北九州市長に報告すると共に、北九州市および北九州市教育委員会と協働で事業を推進することを確認した。

平成23年度は、この報告結果を踏まえ、北九州市教育委員会との連携を図りながら、以下の義務教育支援のための具体的なプロジェクトの事業化を行なう。

組織体制として、北九州地域の経済団体及び企業等による義務教育支援

活動の企画、調整、実施を行なう推進組織として、「北九州義務教育支援フォーラム」を設置する。また、「北九州義務教育支援フォーラム」の推進機能を持つ「KPEC 義務教育支援委員会」を設置する。

義務教育支援プロジェクトについては、以下の事業を実施する。

- i) 親学（おやがく）の推進プロジェクト
 - ・企業従業員を対象にしたPTAへの参加促進企画の開発、実施
 - ・親としての意識改善、啓発促進企画の開発、実施
- ii) 社会(企業)体験学習プロジェクト
 - ・児童の社会体験、教員の企業体験の機会の提供
- iii) 講師派遣プロジェクト
 - ・児童、教員および学校管理職を対象にした研修への民間講師派遣
- iv) 環境づくりプロジェクト
 - ・教育関係者と経済界の連携・協力・交流の促進企画の開発、実施

② ひまわり塾の開催

まちづくりについての学習、研究、実践を通じて、まちづくりに取り組む機運の醸成、地域経営に関する意識向上、およびヒューマンネットワークの形成することを目的に「ひまわり塾」を継続実施する。

- 主催 (公財) 北九州活性化協議会、北九州市
- 体制
 - ・名誉塾長： 北九州市長 北橋健治
 - ・塾長： (公財) 北九州活性化協議会理事長 小嶋一碩
 - ・事務局： (公財) 北九州活性化協議会
北九州市人材育成女性活躍推進課
- 対象 企業人15名程度、北九州市職員15名程度
- 活動概要
 - 塾生が希望するテーマ別にグループ分けし、まちづくりに関する研究・企画・実践を行い、その成果を企画報告書にまとめ、企業・市の関係者を招いて発表会を開催する。
- スケジュール (平成23年7月から平成24年6月の1年間)
 - ・開講式 (平成23年7月)
 - ・閉講式 (平成24年7月)

(4) 北九州の都市格向上への取り組み

①「KPEC夢のかけ橋寄金」事業の実施

平成21年度より「北九州ひとつづくり寄金研究会」を設置し、公益財団法人の環境を活用した「寄金」の設置と、このまちの都市格の向上に資する文化および教育分野への活動資金助成を行なう仕組みづくりと方法について研究を行ってきた。

その研究結果を踏まえ、寄金の名称を「夢のかけ橋寄金」と改め、事業の具体化に向けた取り組みを開始し、平成23年度中を目途に、募金事業

及び助成事業の具体化に向けた環境整備を行なう。

組織体制として、「夢のかけ橋寄金」の企画、開発、実施を行なう「夢のかけ橋寄金委員会」を設置する。また、助成事業にかかる審査機能、公聴機能として「夢のかけ橋寄金審査委員会」を設置する。

i) 募金事業プロジェクトの運営

- ・趣旨を踏まえた募金企画、募金システムの研究、開発調査実施
- ・趣旨に賛同する法人・個人・団体を対象とした募金業務の運営

ii) 助成事業プロジェクトの運営

- ・趣旨を踏まえた助成企画、助成システムの研究、調査の実施
- ・「夢のかけ橋寄金」の助成制度、システムの構築
- ・「夢のかけ橋寄金審査委員会」の運営に関する事務管理

② 北九州ミュージックプロムナードの支援

「北九州ミュージックプロムナード」は、平成8年にKPECの提唱により開催されたもので、北九州における市民参加交流型音楽フェスティバルとして定着している。「北九州ミュージックプロムナード」実行委員会に参画し運営を支援していく。

③ 北九州市にぎわいづくり懇話会への参画

市民主導によるビジターズ・インダストリーを推進するための組織である「北九州市にぎわいづくり懇話会」に参画し、行政と協働で北九州市への来訪者の増加とにぎわいの創出を推進する。

(5) 情報受発信・交流事業

① ABLEサロンの開催

「時代の流れ」を知り、KPECの活動の方向性を探るとともに、会員企業及び地域の活性化に取り組む関係者との交流を促進し、地域の活性化情報の受発信を行うため、通年事業の一つとして「ABLEサロン」を開催する。平成23年度も、時宜を得た話題を取り上げ、会員と情報の共有化を図る。

- ・ 実施内容 : 講演会、見学会等
- ・ 実施時期 : 年間3回程度
- ・ 案内者 : 理事・監事、評議員、賛助会員等…約320人

② 情報受発信の強化

i) KPECニュースの発行

KPECの活動内容、及び北九州市の出来事・トピックス等を掲載した機関誌「KPECニュース」を発行する。

- ・ 発行回数 : 3回/年
- ・ 発行部数 : 1000部

ii) ホームページでの情報発信

ホームページを活用して、K P E Cの活動内容及び関連情報をタイムリーに発信する。今年度はホームページの更新も行う。

③ 地域おこし研修交流

「地域づくりネットワーク福岡県協議会」の北九州ブロック代表幹事として北九州市域の地域づくり団体との橋渡し役を果たすと共に、同協議会主催の「福岡県地域おこし研修・交流会」に参画する。

(6) まちづくり推進事業

PPP（公民連携）や「新しい公共」などによって「支え合いと活力のある社会」の実現に向けた取り組みが活発になっている。公益財団法人であるK P E Cの組織的位置づけを活かし、市民・団体・大学・行政等の連携軸として北九州の街づくりのための環境づくりを行う。

① まちづくり講演会の開催

平成22年度に実施した「まちづくり講演会」を踏まえ、関係組織の連携強化と地域のシンボル事業の開発を目的として、経済団体と協働で「世界に広がる北九州のあすを考える講演会」を開催する。

- ・ 日時 : 平成23年7月7日(木) 午後 (90分程度)
- ・ 会場 : 北九州国際会議場メインホール(予定)
- ・ 講師 : 新日本製鐵株式会社 会長 三村 明夫 氏
- ・ 参加者 : 北九州地域企業・関係機関及び市民(予定: 500人)
- ・ 主催 : 公益財団法人北九州活性化協議会
- ・ 共催 : 北九州市、北九州商工会議所、(社)北九州貿易協会、(社)北九州中小企業経営者協会、(社)西日本工業倶楽部(財)西日本産業貿易コンベンション協会

② 環境首都づくりのための今後の活動の方向性研究

有識者から意見を聞き、環境首都づくりのための今後の活動の方向性を研究する。

③ 地域活性化に向けた新しい活動分野の研究

PPP（公民連携）や「新しい公共」などの社会政策の動向を踏まえて、経済団体等と連携した取り組みについて研究を行なう。

2. 指定管理者事業

・ 北九州イノベーションギャラリー（K I G S）指定管理者事業

【管理運営について】

第二期指定管理者として館の運営に当たっている。平成22年度実績は、北九州市との契約である数値目標（総入館者数・企画展入場者数・教育普及参加数・売上）を全てクリアーできる見込みである。

平成23年度も企画展示事業（4回／年開催）を中心として、各種の技術革新講座やフォーラム、工房を使った工作体験など、企業人から高校生や子供が楽しみながらものづくりの楽しさを味わえる講座などを開催し、館の設置目的である人材育成・産業技術の保存継承・技術革新の機会創出を目指して事業を進める。また、館の管理については、設置4年が経過し備品（PC・カメラ・映写機器など）あるいは、建屋（雨漏り）・工房（工作器具）などに、不具合が見られる状況となっている。日々管理を充実させる中で館の運営に支障がないよう努める。

【事業】

I 企画展事業

- 1 春 『巡回展 : カメラの歴史展～古き良き時代から現在まで～／おもしろ写真スタジオ～撮影の楽しさ体感～』
- 2 夏 『(仮称) 大空への挑戦』
- 3 秋 『(仮称) プロダクトデザイン展』
- 4 冬 『(仮称) 日本の歴代ノーベル賞者展』

II 調査研究事業

- 1 自主調査研究
(予定) 『北九州イノベーター列伝～近代産業を開いた偉人達』
(予定) 『日本の高度成長に貢献したセメント発展史』
- 2 委託研究
(予定) 『北九州の技術革新史の変遷（各業種編・総集編）』
- 3 共同研究
(予定) 『ワイヤーロープの歴史』

III 教育普及事業

- 1 イノベーションフォーラム
- 2 企画展連動講演会他イベント実施（春・夏・秋・冬）
- 3 技術革新講座（予定・・・基本テーマ：イノベーションの発想）
 - ① 開講記念講演
『ひらめきの発想：～先人の言葉とセレンデプティ～』
(明治大学教授 北野 大)
 - ②～⑥回については検討中
- 4 デザイン講座（詳細検討中・・・コーディネーター：九州大学 森田 教授）
- 5 ものづくりの心 講座
(工業高校生にものづくりの心の伝承、地場企業の取組み紹介)

- 6 工房塾
(若手技術者や工業高校生を対象に、北九州マイスターの技術を実演、継承を目指す)
- 7 調査研究報告会 (研究成果の報告会の実施)

IV その他教育普及プログラム

- 1 ワークショップ
 - ① K I G Sプロジェクト
(若手技術者らによるチームを作り創造的ものづくりに挑戦する)
 - ② K I G S倶楽部
(市民を対象にものづくりやデザインの実践のコースを実施する)
- 2 イベント
(東田サマースクール、イノベーションツアー、子供工作教室、K I G Sツアー、産業映像上映会、他)
- 3 中学校の先生に学ぶ (北九州の中学校の先生が教える理科実験教室)
- 4 S A F n e tサマーイベント (3館連携事業の一環として開催)
- 5 3D塾 (CAD・CAM) の指導
- 6 団体向け講習
(企業、学校の要請に対応した事業：修学旅行生・企業研修など)

V 映像製作事業

- 1 岡野バルブ
(仮称：世界が認めた安全弁～原子力発電所の高温高圧バルブの開発)

II. K P E C組織活性・強化事業

K P E Cの目指す役割を果たすために、K P E Cの強みを活かした事業の企画・運営を行い、K P E C組織の活性化を促進する。

(1) 会員サービス事業

- ① 情報提供の強化
会員への情報伝達の効率化とスピードアップを図るため、メール配信システムを構築すると共に、会員管理システムの更新も行う。
- ② 会員募集の強化
各種事業活動の活性化の促進と広報の強化により会員拡充を図る。

(2) 地域連携促進事業

- ① 他団体との連携強化
西日本工業倶楽部との共催により講演会を開催し、会員サービスの向上

を図ると共に、KPEC の情報提供力の強化と企業間の交流を促進する。

- ② 「スポーツ振興による青少年健全育成実行委員会」運営事業への参画
平成22年度に実施した「サッカーを通じた青少年育成事業—スポーツ振興チケット」事業で作成した「スポーツ振興チケット」の活用を図り、地域におけるKPEC事業の意義を高めると共に、地域活性化のシンボルである「ギラヴァンツ北九州」を積極的に支援するため、官民で設置した「スポーツ振興による青少年健全育成実行委員会」の運営を通じて事業のフォローを行なう。

(3) 会議等の実施

定款等に基づき、所定の会議を開催する。

- ① 理事会の開催（6月、3月、及び定款32条に基づく業務執行状況報告）
- ② 評議員会の開催（年2回：6月、3月）
- ③ 評議員選定委員会の開催（随時）
- ④ 執行役員会議の開催（月1回）
- ⑤ 専門委員会の開催（随時）

2、指定管理者事業

(1) 北九州イノベーションギャラリー（K I G S）指定管理者事業

平成23年度事業計画

【管理運営について】

第二期指定管理者として館の運営に当たっている。平成22年度実績は、北九州市との契約である数値目標（総入館者数・企画展入場者数・教育普及参加数・売上）を全てクリアーできる見込みである。

平成23年度も企画展示事業（4回／年開催）を中心として、各種の技術革新講座やフォーラム、工房を使った工作体験など、企業人から高校生や子供が楽しみながらものづくりの楽しさを味わえる講座などを開催し、館の設置目的である人材育成・産業技術の保存継承・技術革新の機会創出を目指して事業を進める。また、館の管理については、設置4年が経過し備品（PC・カメラ・映写機器など）あるいは、建屋（雨漏り）・工房（工作器具）などに、不具合が見られる状況となっている。日々管理を充実させる中で館の運営に支障がないよう努める。

【事業】

I 企画展事業

- 1 春 『巡回展：カメラの歴史展～古き良き時代から現在まで～／おもしろ写真スタジオ～撮影の楽しさ体感～』
- 2 夏 『(仮称)大空への挑戦』
- 3 秋 『(仮称)プロダクトデザイン展』
- 4 冬 『(仮称)日本の歴代ノーベル賞者展』

II 調査研究事業

- 1 自主調査研究
(予定)『北九州イノベーター列伝～近代産業を開いた偉人達』
(予定)『日本の高度成長に貢献したセメント発展史』
- 2 委託研究
(予定)『北九州の技術革新史の変遷(各業種編・総集編)』
- 3 共同研究
(予定)『ワイヤーロープの歴史』

III 教育普及事業

- 1 イノベーションフォーラム
- 2 企画展連動講演会他イベント実施（春・夏・秋・冬）
- 3 技術革新講座（予定・・・基本テーマ：イノベーションの発想）
 - ① 開講記念講演
『ひらめきの発想：～先人の言葉とセレンデプティ～』（明治大学教授 北野 大）
 - ② ～ ⑥ 回については検討中
- 4 デザイン講座（詳細検討中・・・コーディネーター：九州大学 森田 教授）
- 5 ものづくりの心 講座
(工業高校生にもものづくりの心の伝承、地場企業の取組み紹介)
- 6 工房塾
(若手技術者や工業高校生を対象に、北九州マイスターの技術を実演、継承を目指す)
- 7 調査研究報告会（研究成果の報告会の実施）

IV その他教育普及プログラム

1 ワークショップ

① KIGSプロジェクト

(若手技術者らによるチームを作り創造的ものづくりに挑戦する)

② KIGS倶楽部

(市民を対象にもものづくりやデザインの実践のコースを実施する)

2 イベント

(東田サマースクール、イノベーションツアー、子供工作教室、KIGSツアー、産業映像上映会、他)

3 中学校の先生に学ぶ (北九州の中学校の先生が教える理科実験教室)

4 SAFnetサマーイベント(3館連携事業の一環として開催)

5 3D塾 (CAD・CAM)の指導

6 団体向け講習 (企業、学校の要請に対応した事業:修学旅行生・企業研修など)

V 映像製作事業

1 岡野バルブ

(仮称 : 世界が認めた安全弁 ～ 原子力発電所の高圧高温バルブの開発)

以上